

かみかわ町議会だより



「小松神社 茅の輪くぐり」

(撮影者「フォーカス友の会」根岸 清さん)

小松神社茅の輪くぐりは、暑い夏を迎えるにあたっての厄除け神事として、700年ほど前に始められたと伝えられています。現在では新暦によって7月31日の祭日に行われ、夕暮れとともに多くの人びとが無病息災を祈りこの輪をくぐりました。

<主な内容>

- 平成26年度神川町一般会計補正予算(第2号)などの補正予算を可決
- 神川町立学校施設使用条例など9条例を否決



議会を傍聴しませんか

第4回定例会は9月3日(水) [午前9時~] 一般質問等から12日(金)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

定例会のあらまし

平成26年第3回神川町議会定例会は6月4日から12日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成26年度神川町一般会計補正予算(第2号)ほか15議案、4件の報告及び陳情2件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、6月4日に行われ、6名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。
概要は、次のとおりです。



廣川 学 議員

神川町の人口増加策について

「効果ある取り組みを」

町が取り組んでいる人口増加策の中で、新しい制度、政策はあるのか、ある場合はその意図について、また、昨年度の実施状況や成果について伺います。

町が行っている結婚相談の1年間における成果や取り組みについて、また、各課から「婚活イベント」等の提案をもらうなど、職員みんなで考える体制づくりをしているのか伺います。

人口増加策として、職員の接遇向上や企業誘致などが考えられますが、町長の描く町の未来像について伺います。

答え 町長

「さまざまな施策を通し
人口増加に繋がります」

町では勤労者住宅資金の貸し付けや子ども医療費の無料化、奨学金返済完納者に対する人材定住報奨金の交付等のほか、昨年度から町営中居住宅の中学生以下の子供のいる世帯への家賃割引の拡大や第3子以降の給食費の無料化などの施策を実施しました。今年から

は、ラインやテレビ埼玉の市町村データ放送により町からのお知らせやイベント、観光情報等を発信しています。

また、就業支援策として、今年度から「町民生活よろず案内事業」を実施します。今後も子育て支援、産業振興、観光推進等さまざまな角度から人口増加策につながる事業を展開します。

町の結婚相談の昨年実績は、本庄市、上里町共催による『婚活セミナー』を2回開催し、町から参

一 般 質 問



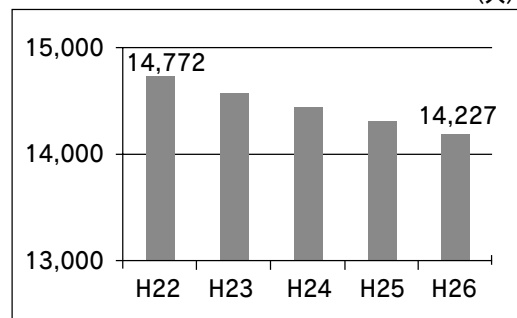
加した男性2人、女性2人がカップルとして成立しました。町の結婚相談所は現在、男性14人、女性2名が登録しており、今年度は婚活セミナーや講演会、婚活イベントなどを予定しています。今後も社会福祉協議会や商工会との連携を図り、また、町の若手職員の提案も取り入れ検討していきます。

未来の神川町については、子育て支援策の充実や産業振興による働く場の確保に加え、魅力あるまちづくりのために観光振興等にも力を入れていきます。



結婚相談所（いこいの郷内）

神川町の人口の推移 (人)



※年間約110人の人口減となっています。(4/1人口)



柴崎 愛子 議員

幼稚園及び保育所の保育料等について

「保護者負担を今より少なくすべき」

幼保一体型の検討は約20年されてきましたが、法律の違い等によりなかなか進まない状況です。ようやく平成27年度から子育て新システムが開始されようとしています。町でも、喫緊の課題です。

このような中、幼稚園の保育料について近隣5市町を調べたところ、所得割があるのは、神川町だけでした。誰もが平等に受けることができる学校教育法、また幼稚園教育要領からすると所得割はなくすべきと考えます。

保育所の保育料についても、近隣10市町を調べましたが、所得割の区分はそれぞれ異なりますが、同じ区分で比較して、神川町が一番高い状況です。保育料は国の算定基準を元に町の裁量で決まると聞いております。是非、保育料の見直しを要望します。

運営費や保育料の算定基準などは住民にとって気が付きにくい部分であり、一人一人にかかる幼稚園、保育所の運営費及び町の負担額についても伺います。

答え 町長

「保育料の見直しを
検討します。」

公立幼稚園の保育料は設置市町村が決定でき、町では、保護者世帯の前年分所得税額に応じた所得階層7区分により保育料を負担していただいております。平成26年度予算ベースでは、保護者負担分が神川幼稚園運営費の約21%を占めており、残り約79%が町負担となっております。

今後どのような保護者負担が望ましいか検討します。

保育所の保育料は、各市町村とも、国の徴収基準額をもとに定めています。今後は子ども



神川幼稚園（七夕まつり）

も子育て会議に諮り、また、近隣の市町との均衡も視野に入れ、保育料の見直しを検討します。町から保育園への1人当たりの支払金額は、1カ月当たり、乳児15万5,080円、1、2歳児、9万3,740円、3歳児4万7,640円、4歳児以上4万1,510円です。

生涯学習について



大川 喜和子 議員

「活気に満ちた生涯学習の推進を」

町では、平成19年3月に生涯学習推進のまち宣言をし、個人から家庭へ、家庭から地域へ、地域から町へと、すばらしい宣言文を掲げました。そして学んだことの発表の場として、町民文化祭やステラまつりを開催しています。しかし、近年、これらのイベントの参加者は減少傾向にあります。これらを見ると、生涯学習を含め全ての面で町全体に活気が見られないということだと思います。これからの時代、物質中心から精神的豊かな生活が求められる時代です。生涯学習推進のまち宣言を出した町として、その文言を具体的にどのように進めてきたのか、またこれからどのように進めていくのか伺います。

答え 教育長

「より多くの人の参加を図るため、新たなメニューに取り組みます。」

町では、誰でも、いつでも、どこでも、生涯にわたって学習することができ、その成果を自己啓発や家庭、社会で生かすことができる生涯学習社会の実現を目指す

め、平成19年に生涯学習推進のま
ち宣言をしました。

この宣言では、生涯を通じて自
己啓発を図り、健やかで幸せな家
庭を築き、信頼し合える地域づく
りに努め、希望に満ちたまちづく
りという4つのテーマを掲げ、こ
れらを実践するため、中央公民館
ふれあいセンター及びステラ神泉
を中心として、町民の多岐にわた
る学習ニーズに対応した趣味、一
般教養講座等の各種教室、講座を



町民文化祭

中心に開催しています。また、日
ごろの学習活動の成果や体験の発
表の場として、町民文化祭やステ
ラ神泉まつりを開催しています。
スポーツ振興では、町民体育祭、
町民ハイキング等を開催し、世代
を超えた交流を深めています。今
後は、より多くの町民に参加して
いただくために、新たなメニュー
に取り組み、また、PR活動の充
実に努めます。



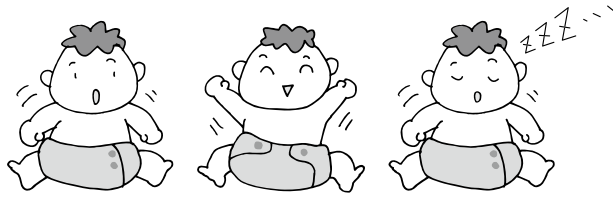
赤羽 奈保子 議員

子育て支援の充実について

「予防接種等のメール配信を」

近年、予防接種法改正により、法に基づいて実施される予防接種が
増加し、対象年齢や接種間隔も変更しています。現在、国が定期的に
接種を義務づけているワクチンは、10種類、このほか任意のものが5
種類ほどあります。接種間隔を考え病院に予約を取り、接種をしま
すが、複雑で大変です。

戸田市では、予防接種早わかりという携帯用のモバイルサイトを導
入しました。この予防接種早わかりは、保護者がパソコンや携帯、ス
マホなどからモバイルサイトに登録し、子供の生年月日や接種状況を
入力することで個別の予防接種スケジュールを作成し、接種日が近づ
くとメールでお知らせするとともに、流行するような感染症情報等のメ
ールが配信されます。導入について町の考えを伺います。



乳幼児健診（保健センター）

答え 町長

「保健師による面談や
電話できめ細かく
対応します。」

乳幼児の予防接種については、
保健師による赤ちゃん訪問時に説
明を行い、さらに保健センターで

の乳幼児健診等で個々の接種状
況を確認し、個別に指導していま
す。また、子育て支援ガイドブッ
クの配布や町の広報紙、ホームペ
ージでもお知らせしています。そ
の他、電話や面接、訪問にて対応
しています。今後とも、保健師に
よる電話や面談できめ細かく対応
していきます。

介護マークについて

「介護マークを普及する考えは」

要介護認定を受ける方は、年々増加傾向にあります。それに伴い、
介護する方も増えていきます。静岡県では、全国に先駆けて介護する
方が周囲から誤解を受けないように介護マークを作成、配布していま
す。厚生労働省も、全国の自治体にこの介護マークの普及、周知を図
るよう推進しています。これは、例えば奥さんの介護をしているご主
人が、女性用の下着を購入するときや、駅やサービスイリアなどでト
イレに付き添わなくてはいけないとき、病院の診療室に付き添って入
るなど、さまざまな場面で介護中であることを周囲の人たちに理解し
てもらったためのものです。この介護マークを町でも取り入れ、普及し
ていく考えはあるのか伺います。

答え 町長

「普及促進を図ります。」

介護マークは、自分が介護して
いることを周囲にさりげなく知っ

てもらいたいときに使用します。
国や県でも推奨しており、県内の
実施市町村は、25市町です。介護
者が本人とともに外出し、買い物
や公共施設等においてトイレを利
用する場面等で介護マークを着用

することは周囲の理解を得るために有効な方法です。

町でも、今年度中に保険健康課、神泉総合支所、包括支援センターの各窓口にて介護マークを準備し、あわせてマークの趣旨や役割等を広報紙に掲載し、PRするとともに、町ホームページからダウンロードできるようにするなど、介護マークの普及促進を図ります。



介護マーク

認知症予防について

「軽度認知症スクリーニングテストの導入を」

町でも高齢化に伴い、認知症高齢者や認知症による介護認定者の増加が予想され、早期の認知症予防の取り組みが必要です。認知症は、早期発見、早期予防が重要で、そのツールとして、軽度認知症スクリーニングテストを実施することにより、認知症予防の動機づけや具体的な予防指導のきっかけになるものと考えます。

この軽度認知症テストの導入について、町の考えを伺います。

答え 町長

「他市町村の動向を

調査研究します。」

認知症高齢者は、予想以上のペースで増加しており、4人に1人が認知症もしくは軽度認知障害と

推定されています。この推計をもとにすると、町では、約860人の方が認知症もしくは軽度認知障害者と推測されます。

認知症予防については、介護保険事業の中の地域支援事業に位置づけて検討すべき事業ですので、他市町村の動向を幅広く調査研究し、進めます。



主山 義雄 議員

高齢者の福祉対策について

「介護支援ボランティア制度の導入を」

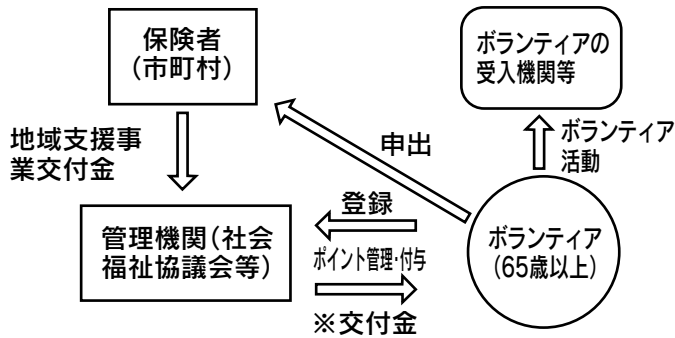
本制度は、高齢者が介護支援ボランティア活動を通し、地域貢献をし、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防が推進されるなど、多くの成果を上げています。この制度の取組みにより、地域ケアの推

「神川町みんなで支え合いサービス事業も含め再構築します。」

介護支援ボランティア制度は、65歳以上の元気な高齢者がボランティア活動を行うことにより、活動実績を評価した上で、換金可能なポイントを付与し、年度で最高5,000円を上限に個人に交付する仕組みです。主に介護施設や集会所などの施設での活動を対象としています。町でこの制度に類似するボランティア活動は、体操教室等の介護予防事業にお手伝い

答え 町長

進に不可欠な住民参加に関する認識が高まること、社会活動等に参加する元気な高齢者が増加すること、要介護高齢者等に対する介護支援ボランティア活動に関心が高まること、介護給付等の抑制につながるなど、多くの効果が期待されています。導入について伺います。



※年間最高5,000円の交付金が交付されます。
介護支援ボランティア(稲城市)の概要

いただいているいきいきサポーターやふれあいいきいきサロンにご協力いただいている活動、介護施設

設への慰問などがあります。

今後、介護支援ボランティア制度のすぐれた点を本町の既存事業に取り込み、町の実情に即したボランティア制度として本年3月からスタートした神川町みんなで支え合いサービス事業も含め、再構築していきたいと思えます。



渡辺浩一 議員

学力向上について

「民間の塾の指導法の活用を」

この間、新聞の教育欄に、塾や予備校の指導法やノウハウを生かした官民一体型の学校とし、児童、生徒を全国から募集する学校が出て



ふれあいいきいきサロンのお手伝い

きている記事がありました。町でも、塾や予備校の指導法やノウハウを活用した授業をしたり、塾と連携した補習授業を行うなどの計画があるのか伺います。

答え 教育長

「研修を通し教職員の指導力向上に努めます。」

民間の学習塾との連携につきましては、既に東京都や長野県、福岡県などで地域の実態に合った連携をしています。学習指導要領の指導内容に沿った指導を展開する公教育と、それに縛られずに各塾の教育理念に合わせた塾の教育との違いなどで課題もあるようです。

教育委員会では、埼玉県の研修会に多くの教職員を計画的に参加させ、町内各校の教職員全員が学び合うオール神川研修会の充実に

努めます。その中で、町に合った学習塾との連携ができるかどうかについて、慎重に検討します。



※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

◆災害時の対応マニュアル（議会用）を作成しました。

災害面では比較的 안전한地域と思われていました当町でも、今年2月に降雪被害にあい、昨年9月には越谷市で竜巻被害が起こるなど、大規模災害は近辺で、いつ起こるかわからない状況となっています。引き続き地震や豪雨による土砂災害、突風などの災害にも警戒が必要です。

このような状況をふまえ、議会では大規模災害が発生した際の「行動のルール」作りを本年1月からはじめ、議会運営委員会を中心に計6回の会議により、「神川町議会災害対策会議設置要綱」を平成26年5月30日付けで作成しました。

主な役割は、町に災害対策本部が設置された場合、対策本部と連携協力し、災害情報の収集・整理、町への要望及び提言並びに国、県その他関係機関に対する要望活動などを行うことです。

※なお、要綱全文については町のホームページ（例規集）に掲載しますので、ご参照ください。

◆作業着を揃えました。

災害時への対応や現地調査等を使うため、作業着、帽子、雨合羽、長靴等を揃えました。

◆皆さんも日頃から災害に備えましょう。

災害が発生した場合、被害を最小限におさえるためには、日頃から災害を想定し、さまざまな備えをしておく必要があります。具体的には、災害により家から出られない場合の災害備蓄品の確保、また、出られる場合の避難経路及び避難場所の確認、地震に備え家具の転倒防止策などを行うなど、「危険予知」を行い、万が一、災害にあわせた場合でもあわてずに行動することが大切です。



作業着等

議案審議の結果

6月定例会は、平成26年度神川町一般会計補正予算や条例改正、陳情などが審議され、9条例を除き全て可決されました。否決された9条例は、町の公共施設の使用料に関するもので、各施設の使用料の均衡と受益者負担の観点により提出されましたが、今まで減免により無料で利用できた施設を10月から徴収開始するには、施設利用者や団体への説明が不十分であること及び施設の有効活用が図られなくなった場合、生涯学習が衰退した場合の対応策が明確でないなどの理由で否決されました。

人事関係

◎人権擁護委員に野口幸子氏を同意

人権擁護委員候補者に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字植竹840番地3
昭和27年7月18日生

条例関係

件名	内容	可否	議決内容
神川町立学校施設使用条例	公の施設の使用料の均衡と受益者負担の適正化を図るため制定。	否決	賛成少数
神川町B & G海洋センター条例	〃	〃	〃
神川町就業改善センター条例	〃	〃	〃
神川町公民館条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町地域生涯学習センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町矢納センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町阿久原センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町神泉定住促進センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町都市公園条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
神川町税条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	可決	全員賛成

予算関係

◎平成26年度神川町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ8億2,048万8千円を追加し、総額を64億7,448万8千円とするもの。

主な歳出は、降雪被害による農業用施設への補助が7億9,700万円、英語講師派遣委託料453万6千円、町営グラウンドサッカー場芝張替工事400万円、支所耐震診断324万円などです。

◎歳入に追加された項目
国庫支出金

6,729万6千円

県支出金
6億6,293万7千円

繰入金
1億4,735万5千円

諸収入
400万円

町債
▲6,110万円

◎歳出に追加された項目
〈総務費〉
416万2千円

〈民生費〉
374万9千円

〈衛生費〉
100万円

〈農林水産業費〉
7億9,700万円

〈商工費〉
405万2千円

〈土木費〉
400万円

〈教育費〉
652万5千円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町観光事業特別
会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ25万円を追加し、総額を6,219万2千円とするもの。(城峯公園修繕費)

○歳入に追加された項目

繰入金 25万円

○歳出に追加された項目

事業費 25万円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決

契約関係

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 連続炊飯システム・

食器消毒保管庫購入

契約方法 指名競争入札

契約金額 1,717万2千円

契約の相手方

住所 さいたま市北区

土呂町2-73-1

名称 日本調理機

(株)埼玉営業所

代表者 営業所長 柳谷 英希

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 神川中学校運動場改

修工事

契約方法 一般競争入札

契約金額 1億1,523万

6千円

契約の相手方

住所 深谷市

東大沼307-1

名称 渡辺建設(株)

代表者 代表取締役

新井 茂樹

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 青柳小学校運動場改

修工事

契約方法 一般競争入札

契約金額 5,702万4千円

契約の相手方

住所 本庄市児玉町

金屋1220

名称 内藤建設工業(株)

代表者 代表取締役 内藤 稔

報告など

◎平成25年度神川町一般会計継続

費繰越計算書について

翌年度繰越額

3億3,929万円

◎平成25年度神川町一般会計繰越

明許費繰越計算書について

翌年度繰越額

4億1,116万8千円

◎平成25年度神川町公共下水道事

業特別会計繰越明許費繰越計算

書について

翌年度繰越額 1,600万円

陳情

◎総務経済常任委員会

件名 二ノ宮地内の排水路整

備について

要旨 土側溝の排水が流れず、

悪臭がひどい場所の排

水路整備

陳情者

二ノ宮区長 新井英雄 択

◎総務経済常任委員会

件名 関口地内のガードレ

ール設置について

要旨 車と擦れ違う時など、

側溝に落ちる危険性がある場所のガードレ

ール設置

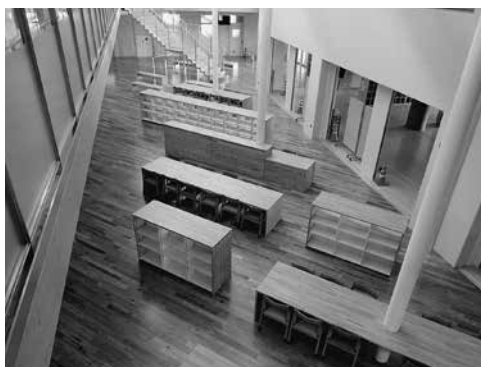
陳情者

関口区長 佐藤 政善 択

〔審議結果〕採



現場視察 (陳情箇所)



図書のにわ



改修された特別教室棟

神川中学校工事現場視察

去る5月1日(木)の臨時会終了後に、中学校管理特別教室棟改築工事現場を視察しました。工事は7月18日現在、概ね8割が完成し、8月4日に職員室を移動し、理科室等の残り2割は10月いっぱいまで完成見込みとなっています。

児玉郡町議会議員前期研修会開かれる

去る7月2日に、上里町役場会議室を会場に約50名の議員、来賓が集まり、児玉郡町議会議長会主催による研修会が開催されました。講演会では「近未来の読み方と自身の



前期研修会

備え方」と題し、現代経営教育センター代表の大塚則弘氏から講演をうけました。講演では社会が悪化から好転へ向かう30年と好転から悪化へ向かう30年と、計60年周期で循環しているお話があり、その潮流をとらえ、それに沿った思考をもつことが大事であると力説されました。

議会日誌

4月



1日 全員協議会 教職員人事異動
辞令交付式

4日 丹荘・青柳保育所入園式

8日 かなな福祉専門学校入学式

8日 神泉小・渡瀬小・青柳小・丹

9日 荘小・神川中入学式

9日 神川幼稚園入園式

10日 更生保護女性会総会

10日 春の交通安全運動キャンペーン

13日 横浜本牧観光協会交流会

16日 食生活改善推進員協議会総会

17日 区長会

23日 母子愛育会総会

5月



1日 定例全員協議会・臨時議会

10日 上武中学校野球大会

13日 商工会女性部総会

14日 社会福祉協議会理事会

16日 文化協会総会

17日 商工会青年部総会

19日 遺族会総会

20日 観光協会総会

20日 社会福祉協議会理事会

22日 郡議長会総会

23日 議会運営委員会

28日 商工会総会

28日 旧議員倶楽部役員会

29日 本庄地方防犯協会、暴力排除

29日 推進協議会総会

30日 定例全員協議会

30日 梨出荷組合総会

6月



4日 第3回定例議会（一般質問）

6日 総務経済常任委員会

12日 第3回定例議会（補正予算等

質疑採決）

17日 戦没者追悼式

20日 旧議員倶楽部総会

25日 法人会事業報告会

26日 神流湖整備協会理事会

27日 国道462号線整備促進期成

27日 同盟会総会

27日 広域圏定例議会